

全国在宅医療会議 参考資料

1. 「医療的ケアを必要とする児」への支援に関する実態調査（平成26年）

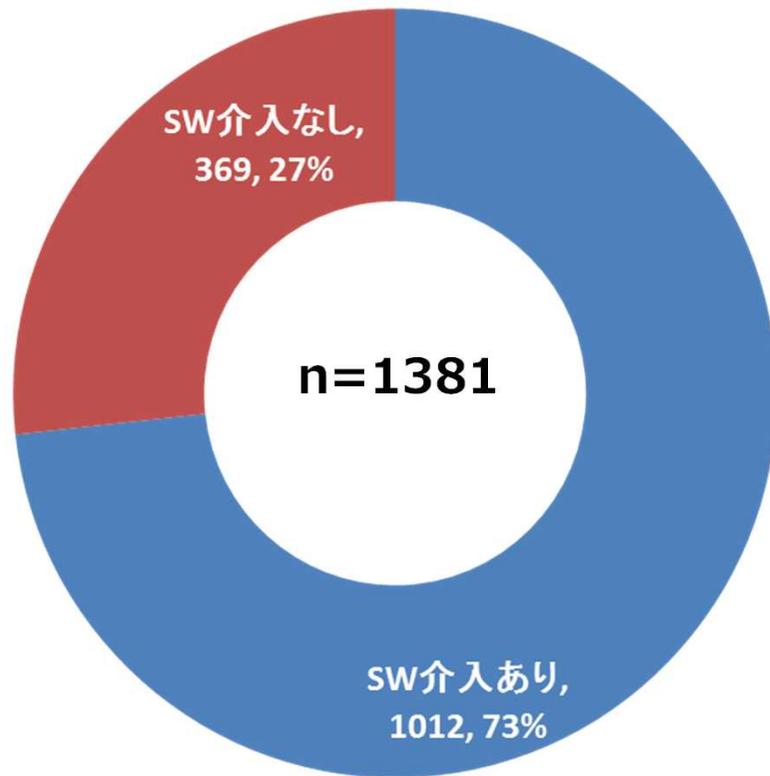
2. 研修プログラム

- ① 在宅医療ソーシャルワーカーの集い
- ② 人生の最終段階における意思決定支援研修会
- ③ 退院支援専門ソーシャルワーク研修会
- ④ 医療ソーシャルワーカーの地域活動セミナー
- ⑤ 在宅医療ソーシャルワーク研修会
- ⑥ 老健ソーシャルワーク研修会

公益社団法人 日本医療社会福祉協会

1. 「医療的ケアを必要とする児」への支援に関する実態調査

医療的ケア児へのSW介入割合 (n=1381)



	SW介入あり	SW介入なし
在宅人工呼吸管理料算定 (n=219)	191 (87%)	28 (13%)
在宅気管切開管理料算定 (n=246)	219 (89%)	27 (11%)
在宅小児経管栄養管理料算定 (n=478)	364 (76%)	114 (24%)
在宅酸素管理料算定 (n=717)	566 (79%)	151 (21%)
在宅自己導尿管管理料算定 (n=192)	125 (65%)	67 (35%)
在宅自己腹膜還流管理料算定 (n=32)	27 (84%)	5 (16%)

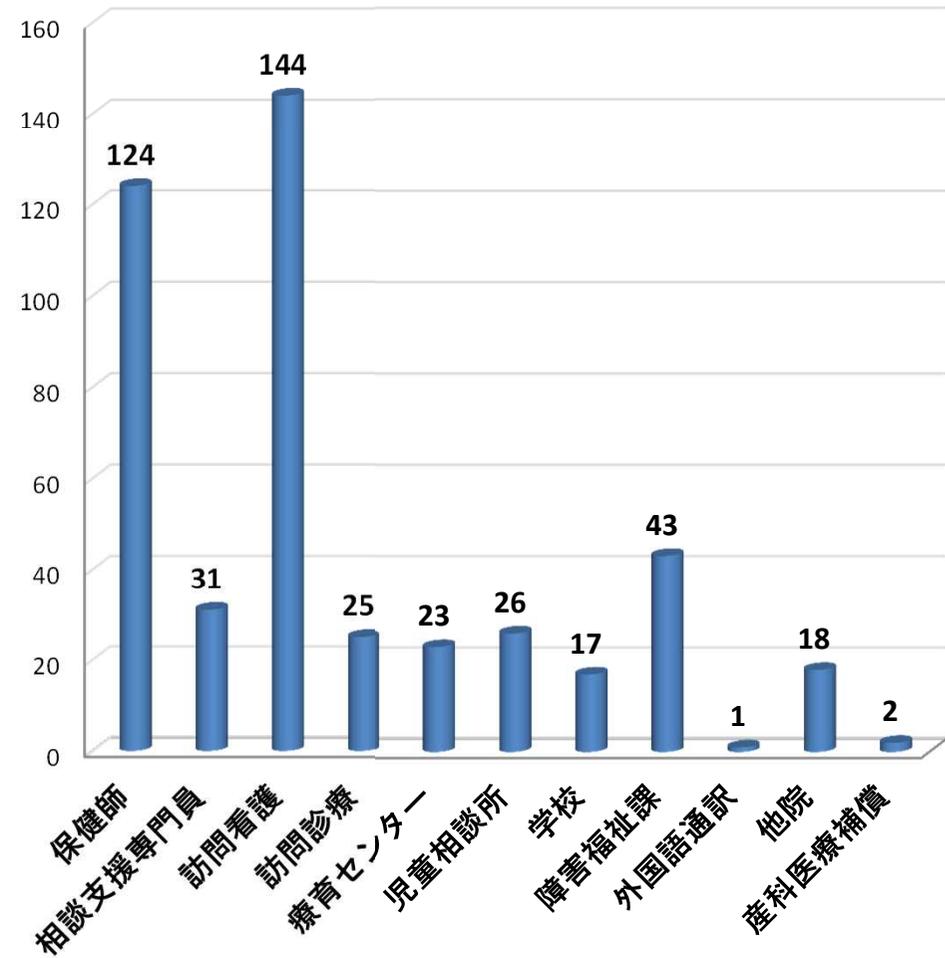
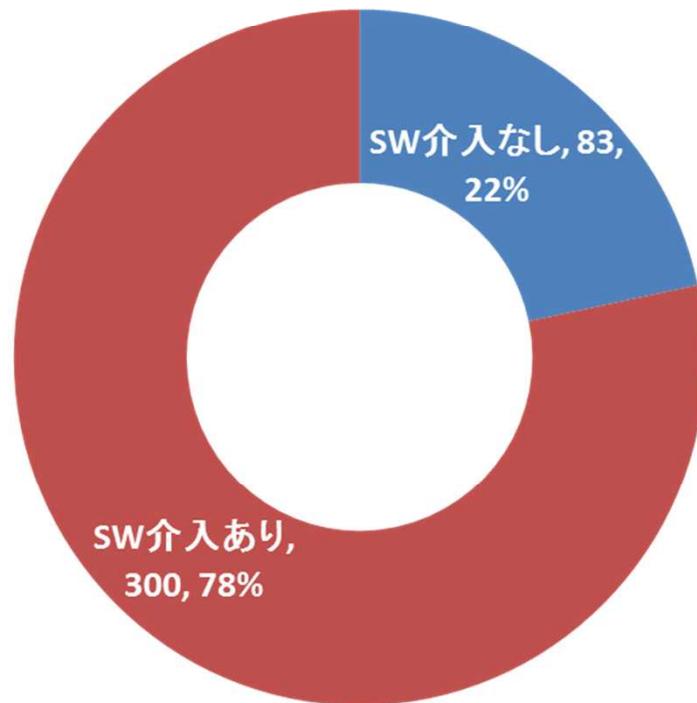
1. 「医療的ケアを必要とする児」への支援に関する実態調査

SW介入有無と連携先：D病院・E病院

(n=383)

医療的ケア児へのSW介入

連携先



まとめ

● SW介入割合

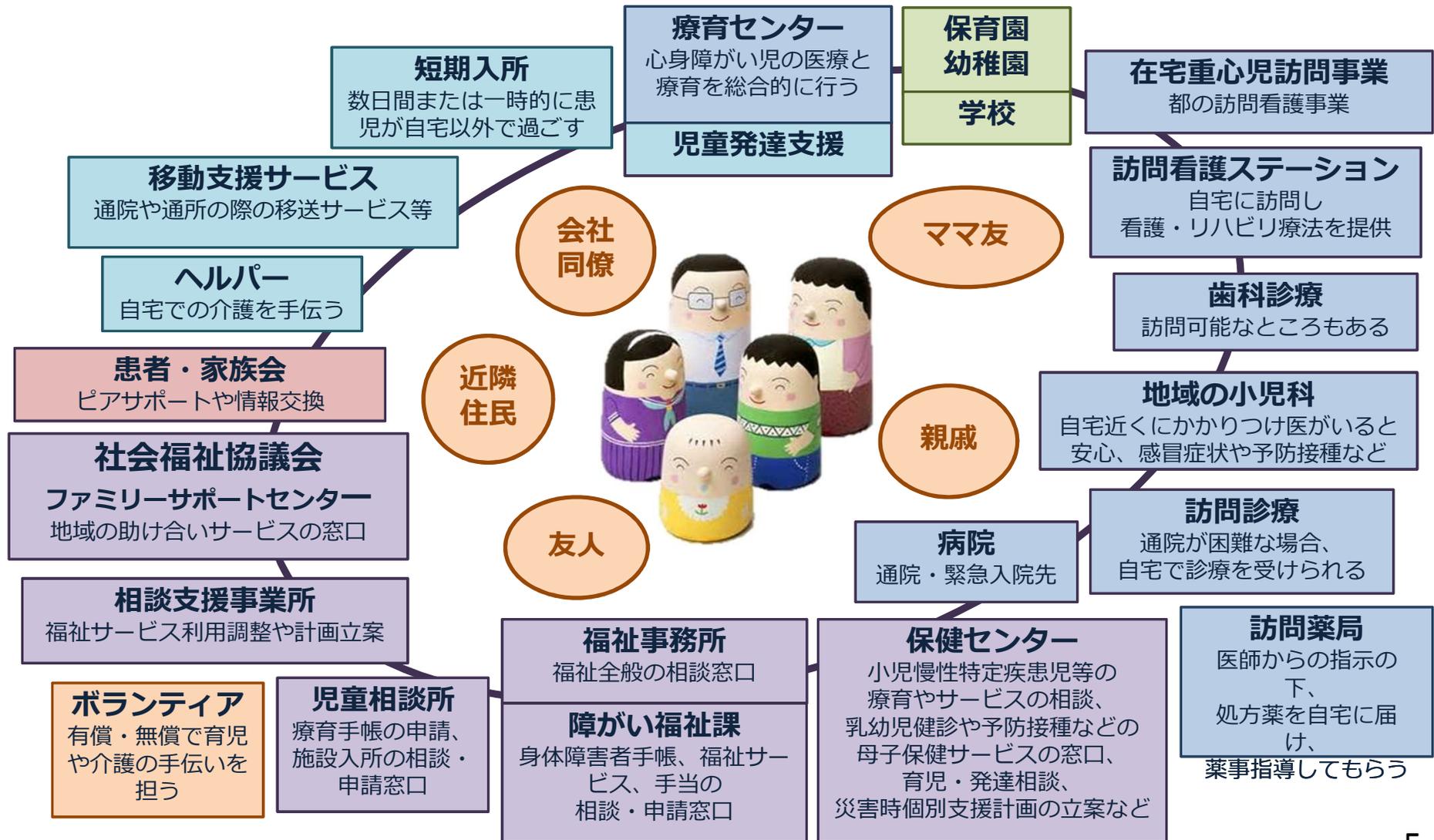
- ✓ 医療的ケア児に対して73%への介入がある
- ✓ 人工呼吸管理：87%、気管切開管理：89%と高度医療的ケアを持って在宅療養を送る児の患者へは約9割に介入している

● SW介入時の院外連携先

- ✓ 高度医療的ケアを要する児は在宅医療（訪問診療・訪問看護）への連携が多い
- ✓ ケースの個別性に対応するためにも連携先も多岐に渡り、医療だけでなく福祉サービス・教育との連携が必要であり、そのためにはSWが必要
- ✓ 相談支援専門員はまだ十分に普及しているとは言えないが、実践しているところではSWが病院側の窓口になっている
- ✓ 多くの医療的ケア児（特に高度医療的ケア児）を診療する総合母子周産期医療センター、小児病院にSWを置くことで、医療ケア児のその後の成長に合わせた相談窓口、連携窓口として機能している

1. 「医療的ケアを必要とする児」への支援に関する実態調査

小児在宅療養における社会資源



2016年度 在宅医療ソーシャルワーカーの集い

2. 研修プログラム

時間	内容	講師
10:00	開会	
10:00～12:00	Session1 在宅医療ソーシャルワーカーに期待すること	みその生活支援クリニック 小野沢 滋 氏(神奈川県) オレンジホームケアクリニック 紅谷 浩之 氏(福井県)
12:00～13:00	休憩	
13:00～14:00	Session2 在宅医療ソーシャルワーカーの実践報告	医療法人社団南星会湘南ライフタウン診療所 小林 廣岳 氏(神奈川県) 輝生会在宅総合ケアセンター元浅草 左右田 克江 氏(東京都) 医療法人心の郷 穂波の郷クリニック 大石 春美 氏(宮城県)
14:00～14:20	Session3 在宅医療ソーシャルワーカーの活動を広げるために～日本医療社会福祉協会から	調査研究部 部長 岡村 紀宏 氏(西岡病院/北海道)
14:20～14:30	休憩	
14:30～17:00	Session4 ワールドカフェ	調査研究部
17:00	終了	

2016年度

2. 研修プログラム

人生の最終段階における意思決定支援研修会

【1日目】

時間	内容	講師
10:00～10:45	講義1. 研修の意義とアイスブレイク	西岡病院 岡村 紀宏 氏
10:45～12:15	講義2. 厚生労働省「人生の最終段階における医療体制整備事業」の成果を踏まえた仕組みづくり	国立長寿医療研究センター 緩和ケア診療部・在宅連携医療部 医師 西川 満則 氏
12:15～13:10	休憩	
13:10～14:40	講義3. 意思決定に関する法的知識	きのした法律事務所 弁護士 木下 正一郎 氏
14:50～16:20	講義4. 人生の最終段階における「つなぐ」連携	みその生活支援クリニック 院長 小野沢 滋 氏
16:30～18:00	講義5. チーム医療におけるソーシャルワーカーの役割	WITH医療福祉実践研究所 がん・緩和ケア部 田村 里子 氏

【2日目】

時間	内容	講師
9:00～10:30	講義6. 人生の最終段階における臨床倫理と相談のあり方	東京大学大学院人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター上廣死生学・応用倫理講座 特任教授 清水 哲郎 氏
10:40～12:10	講義7. アドバンス・ケア・プランニング ～意思決定の支援	東京大学大学院人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター上廣死生学・応用倫理講座 特任准教授 会田 薫子 氏
12:10～13:00	休憩	
13:00～14:30	講義8. -1 & 2	WITH医療福祉実践研究所
14:40～16:10	人生の最終段階におけるソーシャルワーク支援	がん・緩和ケア部 田村 里子 氏
16:10～16:30	アンケート記載	

2016年度

退院支援専門ソーシャルワーク研修会

【1日目】

時間	内容	講師
13:00~13:15	オリエンテーション	
13:15~14:15	講演 医療ソーシャルワーカーに望む 退院支援	いしが在宅ケアクリニック 医師 石賀 丈士 氏
14:15~15:35	講義 退院支援業務の概観 ～その視点の焦点と課題～	日本福祉大学 田中 千枝子 氏
15:45~16:15	アイスブレーキング	
16:15~17:30	演習 KJ法による退院支援に関する困難の構造、関連図作成	
17:30~18:10	発表	
18:10~18:40	退院支援課題に対する介入方法の検討	
18:40~19:00	まとめ	

【2日目】

時間	内容	講師
9:00~9:15	講義 退院支援のソーシャルワーク技術の概観 ～ミクロ・メゾ・マクロの枠組みの提示～	日本福祉大学 田中 千枝子 氏
9:15~11:00	SWOT方式における 組織・地域アセスメント作業	いしが在宅ケアクリニック 医師 石賀 丈士 氏
11:10~12:10	講義 MSWとNsの協働による退院支援	市立四日市病院 看護師 森 美穂子 氏
12:10~13:10	昼食	
13:10~14:10	講義 退院支援におけるソーシャルワークアセスメントの重要性 ～アセスメントツールとしてのエコマップの活用～	WITH医療福祉実践研究所 佐原 まち子 氏
14:10~14:45	事例①を読み込み、エコマップの作成、発表	
15:00~15:25	事例②を読み込み、エコマップの作成、アセスメントを書く	
15:25~16:00	エコマップとアセスメント発表とコメント	
16:00~16:20	エコマップ質疑・全体フィードバック	

2. 研修プログラム

2017年度（予定）

医療ソーシャルワーカーの地域活動セミナー

□ 講演 「在宅医療介護連携推進事業の取り組み」
厚生労働省老健局主査 塩崎 敬之 氏

□ 実践報告「医療ソーシャルワーカーの地域活動」

新潟県在宅医療・介護連携ステーション南
坂詰 明広 氏

那覇市立病院 樋口 美智子 氏

□ シンポジウム（調整中）

座長 日本医療社会福祉協会業務執行理事 岡村 紀宏

2017年度（予定） 在宅医療ソーシャルワーク研修会

- 講演「在宅医療の概念と課題」 平原 佐斗司先生
（東京ふれあい医療生協梶原診療所／日本在宅医学会副代表理事）
- 講演「在宅医療の実際－在宅医の立場から－」川越 正平先生
（あおぞら診療所／日本在宅医学会副代表理事）
- 講義「在宅医療ソーシャルワークにおける価値・倫理」福田 美香氏
（東名厚木病院／日本医療社会福祉協会調査研究部）
- 講義「在宅医療ソーシャルワークにおける面接技術」中里 哲也氏
- 事例検討
概要説明、ディスカッション、発表 事例提供：調査研究部員

2017年度（予定） 老健ソーシャルワーク研修会

- 講演「老健ソーシャルワーカーに期待する役割」
全国老人保健施設協議会 理事 小川 勝 氏
- 講義「老健ソーシャルワーカーに求める活動と実際」
高知県医療ソーシャルワーカー協会 会長 中本 雅彦 氏
- 実践報告 老健施設 支援相談員（調整中）
- 演習・グループワーク
「これからの老健ソーシャルワーカーの役割」
日本医療社会福祉協会業務執行理事 岡村 紀宏